

【事例 H27-03-03】 島根県

ゲートキーパー・スキルアップ研修指導者養成講習会
＝メンタルヘルス・ファーストエイドを用いたゲートキーパー養成の取組＝

ゲートキーパー養成研修を整理して体系化し、保健所や市町村と共通認識を図った。また、「ゲートキーパー・スキルアップ研修指導者養成講習会」により、各圏域で地域にいる専門職等の人材を活用してスキルアップ研修が実施できるよう、心と体の相談センターで講師を養成した。

【実施主体】 島根県

【大綱の分類】 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する

【事業予算】 平成 26 年度 336 千円（ 336 千円 ）

【利 点】

▼研修の到達目標と事業の役割分担が明確である。

【実施に至るまで】

【背景・必要性・理由の概要・等】

島根県では平成 21 年度から保健所や市町村を中心にゲートキーパー養成に取り組んできた。25 年度からは「島根県自死対策総合計画」（25 年 3 月改訂）に基づき、相談機関等に適切に「つなぐ」ゲートキーパーの育成に力を入れて取り組み始めた。島根県の自殺死亡率は全国平均を超える高い率で推移している（平成 25 年 25.4）。

【計画を立てる上での工夫・等】

- ・スキルアップ研修で用いる教材を作成し、講習会受講者に配布した。また、保健所や市町村で研修会を企画する際に活用する目的で、承諾が得られた受講者リストを講師候補者名簿として保健所に送付した。
- ・平成 26 年度の講習会では地域におけるスキルアップ研修のイメージができるよう、保健所が実施したスキルアップ研修の取組を紹介した。

【具体的な内容・実施の過程】

- ・ゲートキーパー・スキルアップ研修指導者養成講習会の企画運営は心と体の相談センターが行い、講習参加の呼びかけや参加者の取りまとめは各保健所で行った。

【成 果】

▼平成 26 年度は、7 圏域中 3 圏域でスキルアップ研修が開催されるなど、着実に研修体制の拡充が図られた。

【補 足】

▼特になし

【課 題】

- ・ 今後は、全圏域でのスキルアップ研修実施を目指す。そのために平成 27 年度は講師養成目的の講習会の他、ゲートキーパー養成研修担当者や精神保健福祉の専門職を対象としてスキルアップ研修の体験や研修実施時の留意事項を学ぶ研修会を予定している。

【事業種別】 人材養成事業**【準備期間・人数】** 半年・4人**【予防段階】** 1次**【自治体規模】** 人口 69.4万人（H27 国勢調査から） 財政規模**【自治体負担率】** 0%**【事業対象】** 保健師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士等の専門職**【支援対象】** 県民**【実施主体・問合せ先】** 島根県立心と体の相談センター 相談判定課

TEL: 0852-32-5905

E-mail: kokokara-c@pref.shimane.lg.jp

URL: <http://www.pref.shimane.lg.jp/kokoro/>**【参考資料・文献】** 人口動態統計

大塚耕太郎（岩手医科大学医学部 神経精神科学講座 講師）

鈴木友理子（国立精神・神経医療研究センター精神保健研修所）

加藤隆弘（九州大学先端融合医療レドックスナビ研究拠点特任教授）

長 徹二（三重県立こころの医療センター診療部）

【作成日】 2017/1/17